

月刊中之島民

中之島

Vol.38 2011 9/1

◎iPadサイズ(と、ほぼ同じ)



ナカノシマ大学

近藤雄生×竹岡寛文

「中之島から
旅に出よう!」
申し込み受付中!

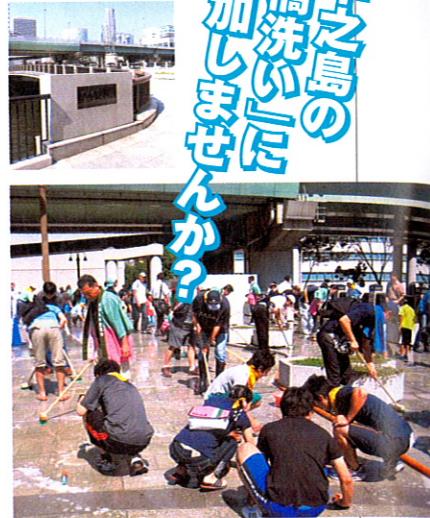
橋を渡る人の「街事情」マガジン



大阪経済入門。
中之島から考える。

私たちがいつも何気なく歩いて渡っている橋。その橋を自分たちの手できれいにしようというイベントがあるのを存じだろうか。その名も「なにわ八百八橋『橋洗い』」は、毎年秋に行われている恒例行事。昨年に引き続き、今年は中之島ガーデンブリッジにて開催される。

中之島の「橋洗い」に参加しませんか?



参加者たちがデッキブラシやタワシを手に、すみずみまでこごしとこすってていく。ふだんは気にしないものの、意外に橋が汚れていることに気づいて、参加者たちは驚くと共に、未来に向けて大事に守っていくなければならない想いを強くするのだと。今年9回目を迎える「橋洗い」は、2003年の水晶橋に始まり、中央・北区役所も参画するなど徐々に規模が拡大。洗う橋の数も増えつつある。昨年には200人を超える参加者が集い、楽しみに待っている人も多いのだそう。日頃の感謝の意味も込めて、今年はあなたもぜひ参加してみては。（大迫力・本誌）

第9回 なにわ八百八橋「橋洗い」

大阪市や経済界、中之島まちみらい協議会の協力で開催。参加希望の方は2~3日前までに事務局に連絡を。洗剤を使って洗うため、汚れても良い服装で。ブラシなどは数に限りがあるため、持参するのも良い。

日時／9月17日（土）10:30AM ~ 0:50PM
場所／中之島ガーデンブリッジ
問い合わせ／なにわ八百八橋「橋洗い」実行委員会 06-6924-2016

役割を考えるシンポジウム

水都大阪・シンポジウム

夢いっぱい！水都大阪2011

～新しい時代の水都再生への指針～



とき 平成23年10月6日(木)
13:30~16:00(会場 13:00)
ところ 大阪大学中之島センター
会場 佐治敬三メモリアルホール

定員 180名様(先着順) 入場無料

水都再生を目指している人気都市に注目をあてて、地域活性化、エコロジーの中でのまちづくり、アートの発展などでの地域活性化、都市景観、経済活性化などを題として、他の活動の基盤づくりにまつわる多方面から実現のための役割を考えます。また、NPO法人・学術の協働情報発信などと連携、実施の基礎となるプラットフォームづくりを目指し、シンポジウムをまとめて共同開催いたします。

・基調講演「水都大阪2011・新たな展開へ」

嘉名光市(大阪市立大学大学院工学研究科准教授)

・パネルディスカッション

「水と光とアート・新しい時代の水都大阪推進へ」

コーディネーター：室井 明(滋賀大学理事・元水都大阪2009実行委員会事務局長)

「中之島・アートとまちおこし」建畠 酷(京都市立芸術大学学長・前国立国際美術館長)

「防災と親水機能」辰谷義明(大阪府都市整備部河川室長)

「水辺活性化と都市型観光」中村裕子(大阪商工会議所地域振興部副主幹)

「市民が主体のまちづくり」山崎 亮(studio-L代表・京都造形芸術大学教授)

・共同宣誓

清水治療 NPO法人 大阪再生プラットフォーム理事長

主催 NPO法人 大阪再生プラットフォーム

共催 水都大阪水頭会議実行委員会

水都大阪ハーバーズ推進会議会員登録申込書

協力 中之島まちづくり協議会

後援 水都大阪推進委員会、大阪府、大阪市、(公社)西日本高速道路、大阪商工会議所、

(財)大阪観光コンベンション協会、大阪21世紀会議

シンポジウム「夢いっぱい！水都大阪2011」

●基調講演「水都大阪2011・新たな展開へ」

嘉名光市(大阪市立大学大学院工学研究科准教授)

●パネルディスカッション

「水と光とアート・新しい時代の水都大阪推進へ」

コーディネーター：室井 明(滋賀大学理事・元水都大阪2009実行委員会事務局長)

「中之島・アートとまちおこし」建畠 酷(京都市立芸術大学学長・前国立国際美術館長)

「防災と親水機能」辰谷義明(大阪府都市整備部河川室長)

「水辺活性化と都市型観光」中村裕子(大阪商工会議所地域振興部副主幹)

「市民が主体のまちづくり」山崎 亮(studio-L代表・京都造形芸術大学教授)

日時／10月6日(木) 1:30PM~4:00PM(開場1:00PM~)

会場／大阪大学中之島センター10階 佐治敬三メモリアルホール

定員／180名 入場料／無料

申し込み方法／氏名(ふりがな)・所属先・連絡先を明記の上、EメールまたはFAXにてNPO法人大阪再生プラットフォームまでお申し込みを。複数名の場合は全員の氏名(ふりがな)をお書き下さい。9月20日(火)締め切り。
Eメール：yumesuito@yahoo.co.jp FAX：06-6447-7376

問い合わせ／上記のメールアドレス、またはFAXにて。

『月刊島民』の編集発行人、江弘毅の新刊『うまいもん屋からの大阪論』が発売された。からの大坂論』が発売された。キタ、ミナミといった中心部から、大正や鶴橋、九条など味のある個性を放つエリア、さらには北摂や芦屋に関する論考も全編書き下ろし。気合の入った一冊だ。

中でも島民読者の注目なのはやはり北新地か。最近多

ている。(大迫力・本誌)



「うまいもん屋」からの大阪論
(NHK出版新書・819円)
京都、神戸についての章もあり。
内田樹先生の帯文がまぶしい。

中之島を筆頭に、大阪の都心部には川が多く、「水辺」は街を見る際のキー「ワード」になっている。その「水辺」をどのように活用し、水都再生のために役立てるかを考えるシンポジウムが「夢いっぱい！水都大阪2011」だ。

さまざまな分野の専門家が集い、地域の防災やライドアートによる光のまちづくり、アートの拠点開発、都市型観光の舞台としての活用など、多方面から「水辺」の持つ魅力や担うべき役割を考えしていく。

また、市民やNPOと共に、行政や経済界、大学が一致団結して問題に取り組むためのプラットフォームづくりを目指し、シンポジウムのまとめとして共同宣言が行われる。(大迫力・本誌)